

～こころに笑顔の種がふる～

はあとふる

2020 Vol.59

地域の皆さまに、
Warm Heart(心)
Cool Head(知識・判断)
Beautiful Hands(技術)で
ヘルスケアサービスを提供するための
コミュニケーション誌

【特集】

変えていくもの。
変えてはならないもの。



ウイルスと戦うすべての人へ、
「共にごんぼう」の
エールをおくります。
その先にある、
みんなの笑顔を信じて。

【不易流行】

松尾芭蕉が「去来抄(きょらいしょう)」に記した俳諧理念。芭蕉は、いつの時代にあっても人の心を動かすことができるものを「不易」、時代や場所などに応じて新しさを感じさせるものを「流行」と説いた。永遠に変わらないものを見失うことなく、変化にも柔軟に対応して行くこと。不易と流行、いずれ劣らずともに大切なことと解される。

変えていくもの。 特集 変えてはならないもの。

運動器ケア しまだ病院 新院長ごあいさつ



かつ だ ひろ し
勝田 紘史

PROFILE

- 日本整形外科学会認定整形外科専門医
- 全日本スキー連盟競技本部情報・医・科学部 医科学 サポート委員会専門委員

2002年 | 川崎医科大学医学部卒業
 2011年 | 島田病院(当時)に入職
 2014年5月~2015年3月 | 日本全国の様々な病院で整形外科医として修業
 2020年4月 | 運動器ケアしまだ病院院長に就任
 人工関節、関節外科を専門領域として、外傷や整形外科一般治療など幅広く治療にあたる

Hiroshi Katsuda

『動いて治す』伝統と『その人らしく』の魂を受け継ぎ、Value Based Healthcare (VBH)の向上をめざした。

島田病院(当時)は、1946(昭和21)年に初代院長・島田永廣により開設されました。当時は結核療養を中心とする病院でした。現理事長・島田永和が当院に副院長として赴任されたのが1984(昭和59)年です。

当時では、まだ珍しかったスポーツ整形外科という分野を中心に、運動器で困った問題をリハビリテーションによる機能を重視した治療(運動療法)を主体として対処してきました。同時に、手術が必要と判断した方には高い技術での手術療法を提供して参りました。

私が副院長として赴任したのが2011(平成23)年です。2018(平成30)年には新病院をグランドオープンすることができました。

このたび2020(令和2)年4月に、私は「運動器ケア しまだ病院」の院長に就任することになりました。

不要な安静を敵とし、『動いて治す』という伝統と、『その人がその人らしく自分の人生を全うすることを支援する』という魂を受け継ぎ、大事にしていきたいと思えます。

個を高め、その個と個が信頼でつながり、職種、施設を超えるチームづくりを。

すでに、伝統・魂そして新しい建物と機器という大きな土台があります。私たちはこの土台を利用し、次のステップへ登っていく使命があると思っています。

目の前には超高齢化・少子化・人口減少と社会保障のあり方をめぐる問題が山積みです。

これらの問題乗り越えていくための一つの手段としてValue Based Healthcare (VBH)という考え方があります。この「Value(価値)は、(価値)÷(アウトカム)÷(治療・介入)にかかるコスト」という式で表されるとされています。つまりケアを受けた方の成果が高ければ高いほど、一方、それにかかるコストが低ければ低いほど、ケアの価値は上がることになります。VBHは価値を高めるケアを推奨する考え方です。

こんなことをはたして実現できるものでしょうか?

私は、安全を担保しつつVBHに挑戦していきたいと考えています。私たちはこれを実現するために、今ある土台をさらに固める必要があります。そして、ICTを活用して生産性、効率性を高めるシステムを作り上げねばなりません。さらに、個を高め、その個と個が信頼でつながり、職種、施設を超えたチーム形成を推進することができれば、問題解決の糸口をつかみ、

地域はもちろん、全国、世界へと発信できるような組織になると確信しています。

島田永和前院長には引き続き理事長という立場でサポートいただきますが、まだまだ技術も経験も浅い私が院長という立場で当院の船頭とならねばなりません。

この船が夢に向かって走り続けるには、皆さんのお力添えが必須であると考えております。どうか今後とも引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

*If you want to go fast, go alone.
If you want to go far, GO TOGETHER.*

もしもあなたが早く行きたいなら、ひとりで行けばよい。
もしもあなたが遠くまで行きたいなら、ともに行こう。



かな おか よし ひで
金岡 禧秀

Yoshihide Kanaoka

PROFILE

- 医学博士 (分子遺伝学)
- 全国老人保健施設協会 認知症短期集中リハビリテーション研修 修了

1989年 | 大阪大学医学部卒業

1989年~1990年 | 大阪大学医学部附属病院 第3内科研修

1994年 | 医学博士取得 (大阪大学大学院医学研究科)

1994年~1998年 | 大阪バイオサイエンス研究所にてプロスタグランジンの研究に従事

1998年~2019年3月 | 米国ボストンBrigham and Women's Hospitalにてロイコトリエンと炎症の研究に従事

2019年4月 | 介護老人保健施設 悠々亭に医師として入職

管理医師として他職種チームをまとめ、地域介護への貢献をめざす

介護を取り巻く環境や、医療の進歩にも注視しつつ、老健ができる役割を 考えていきたい

このたび、介護老人保健施設 悠々亭の施設長に就任することになりました。歴史と信頼あるこの施設が、さらに地域の方々の介護サービスに貢献できるよう努力していきますので、どうぞよろしくお願いたします。

私は、2019 (平成31) 年4月



この施設に着任しました。医師として、老健の介護・看護・リハビリなどのプロフェッショナルが、ご利用者に対してどのようにサービスを提供するかを見ていくなかで、自分なりに考えるところがたくさんありました。 医師としての役割に加え、このチームとしての機能の良いところは維持し、改善すべきところは改善する。また、できるだけ効率的に良くしていきたいという思いは、ますます強くなってきました。

超高齢化社会に伴うさまざまな課題のなかで特に、

- (1) 認知症ケア
 - (2) ポリファーマシー
 - (3) エンドオブライフケア
- の3つを柱にかかげ、介護老人保健施設 悠々亭をよりよい施設にしていきたいと思っています。

認知症ケアでは、ICT (情報通信技術) を使った新しいアプローチで認知症の複雑な症状の緩和を目指します。

ポリファーマシーとは「Poly」+「Pharmacy」という英語から成る造語で、「多くの薬」ということを意味しています。本来は、治療を目

認知症ケア・ポリファーマシー・ エンドオブライフケア。 「3つの課題」に取り組みながら、 地域介護の中核に。

的とした「薬の服用」であっても、「多くの薬の服用」となれば、副作用などの害悪をもたらします。可能な限り服用する薬の数を減らし、副作用などの害悪をいかにして抑制すべきか？ポリファーマシーは、その取り組みそのものも表しています。しかし、単に薬を減らすということではなく、たとえ多くても必要な薬を見極めて残すという判断も行っています。

最後に、エンドオブライフケア (人生の最終段階のケア) については、高齢になっていくと、やはりADL (日常生活動作) は徐々に低下していきます。治療に対して「続ける」のか「中止する」のかという判断は、ご利用者自身では難しくなってきます。ご家族とともに「その人がその人らしく」人生をおくる、そして最終的に人生を全うするため、私たちがそれぞれ専門職のプロフェッショナルとして貢献できることを考えていきます。

20年後の2040年、日本では高齢者数がピークを迎えます。介護を取り巻く環境、医療の進歩にも注視しつつ、老健ができる役割をこれからも考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

目指す 治療

48時間以内手術への挑戦

♥変えていくもの♥
 大腿骨近位部骨折は、48時間以内に手術
 ♥変えてはならないもの♥
 「動いて治す」の実践

「動いて治す」を追求するために、
 大腿骨近位部骨折は48時間以内の手術を

つまずいて転んでお尻を打った。病院へ駆け込んだら「大腿骨近位部骨折」と診断され、「一両日中に手術を行います」と告げられた。その時、早い手術を望むか、それとも不安が先立つか。

大腿骨近位部骨折の手術には、「できるだけ早い方がよい」とされる。それを「できるだけ」ではなく、さらに徹底して「一両日のうち48時間以内」に行うことを運動器ケアしただけ病院は、目標にしている。

世界的にみると、大腿骨近位部骨折の早期手術は、10年ほど前から欧米で提唱され始めた。今では日本でもその重要性は認識されており、早期手術に取り組む医療機関は増えている。しかし、一般的に普及するまでには至っていない。

それはなぜか？「手術の成否は、準備が鍵を握っています。誰もが、できるだけ早く手術した方がよいということはわかっている。でも、それは準備があつてこそ。その準備には相応の時間がかかる。だから簡単にはできないんです」。日々、手術現場に立つ院長・勝田はそう言う。

大腿骨近位部骨折の手術までのプロセスを聞けば、それももうなすける。その準備の中身を追っていくと…。

高齢者は呼吸器や循環器などに問題を抱えているケースが多い。そのため、まずは麻酔科医師が患者の体が麻酔に耐えられるかどうかを判定する。麻酔は、手術そのものよ

りも命に直結するリスクがはるかに高いからだ。

それだけではない。骨の折れた場所や折れ方から診て、必要なのは骨同士をつなぐ釘か、つないだ骨を支える金属プレートか。それとも関節まるごと取り替えるための人工関節か。それら体内に埋め込まれる材料はどれが最適か。適切なものを手配せねばならない。必要な医療機械は、点検し、滅菌し、セッティングする。手術以前に準備せねばならないことは山とある。2〜3日はかかるのが一般的なのだ。

「それでも、僕らがあえて48時間以内の手術に挑戦するのは、理由があるから。とりわけ高齢の方には、手術を待つだけの時間は、無駄。場合によっては、敵にもなる」。

勝田の言葉を、看護の現場を預かる畠中が継いだ。「何よりも避けたいのは、合併症です。ベッドで動かさずには、安静にしていて、褥瘡(じよくそう)、尿路感染症、肺炎などを起こす可能性が高まります。また、早期にリハビリを始めるためにも手術は早い方がよい。高齢の方は1〜2日間歩かずにいるだけで、寝たきりになりかねない。すでに認知症の症状がある方ならば、それがキッカケで、一気に悪化する恐れもあります。つまり高齢者にとっては、「安静」は敵で、「動いて治す」には早期の手術が欠かせないのだ。これは、運動器ケアしただけ病院が掲げる治療方針

と軌を一にする。

では、なぜそれを実践できるのか？担当外科医師以上に手術のキーマンとなる麻酔科医師・梅内が、その理由を話す。「時間を短縮するために、職種を超えた連携がとれるかどうか。一言で言えば、チームワークです」。

たとえば、教科書の手順を踏むなら、麻酔科医師は整形外科医師の診断を受けてから麻酔に必要な検査や診察を行う。が、それでは時間は短縮できない。

運び込まれた患者さんに大腿骨近位部骨折が疑われるなら、整形外科医師と連携しながら麻酔の術前評価を並行して行う。それは、麻酔科医師と看護師との間、整形外科医師と看護師の間も同様だ。

それぞれが担当する「任務」を縦一本に並べるより、同じ高さで横方向にも複数並べた方が、全体の長さは短くなる。

「正直に言えば、48時間以内の手術に取り組めば、現場の仕事は確実に増えます。予定していた業務をいったん横に置いて、突然の患者さんに対応するワケですから。でも48時間以内の手術に取り組むことは、この病院が目指す「動いて治す」を追求すること。そのためチーム力をまだまだ高めたい。これからも挑戦し続けますよ」。

《大腿骨近位部骨折の早期手術》

「骨折当日から一両日中(今日〜明日≒48時間)に手術する」ことを指す。なかでも高齢者に多い大腿骨近位部骨折は、48時間以内に手術することで、合併症のリスク低減、早期のリハビリ移行、入院期間短縮などが実現できる。ひいてはそれらは、大きな社会課題でもある医療費の削減につながる。



かつだ ひろし
勝田 紘史
 運動器ケアしまだ病院
 院長



うめい たかこ
梅内 貴子
 運動器ケアしまだ病院
 麻酔科 副部長



はたけなか よしこ
畠中 佳子
 運動器ケアしまだ病院
 看護部 課長



《メモリーケア(回想法)》

認知症の進行を抑制するための療法のひとつ。自分が幼かった頃や家族との思い出深い写真を見たり、昔よく使った家庭用品などに触れたり、懐かしい音楽を聴いたりしながら、昔の経験や思い出を語り合う心理療法。自ら思い出を言葉にする、それを話題にして会話するなどの行為によって脳が活性化し、活動性・自発性・集中力向上などの効果が期待される。

江良 優子

介護老人保健施設 悠々亭
リハビリテーション課 サプリダー
言語聴覚士

金岡 禧秀

介護老人保健施設 悠々亭
施設長

渡辺 晋吾

運動器ケア しまだ病院 診療支援課
公認心理師

Nick Hird

株式会社Aikomi(アイコミ)
代表取締役
博士(化学)

▲Aikomiを使った治験風景。医師、公認心理師が立会うなか、端末から写真や映像などが流れ、それを話題に療法士と会話する。治験者左手付近に置かれているのが嗅覚刺激用の素材

人に寄り添う
認知症に
どう向きあうべきか？

♥ 変えていくもの ♥

AIを活用した認知症ケアに挑む

♥ 変えてはならないもの ♥

その人らしい人生の全うを支える

非薬物療法「メモリーケア」にAIを活用
一人ひとりの人生を尊重した認知症ケアを

◆三大認知症の特徴

「平成29年度高齢者白書(内閣府)」によると、2025年の認知症患者は約700万人(高齢者人口の約20%)まで増加。5人に1人が認知症になると推計する。認知症には、「アルツハイマー型認知症(認知症全体の約50%)」「レビー小体型認知症(同約20%)」「血管性認知症(同約15%)」などがあり、これらは「三大認知症」と呼ばれている。

	アルツハイマー型認知症	レビー小体型認知症	血管性認知症
脳の変化	老人斑や神経原線維変化が、海馬を中心に脳の広範囲に出現する。脳の神経細胞が死滅していく	レビー小体という特殊なものができると、神経細胞が死滅してしまう	脳梗塞、脳出血などが原因で、脳の血液循環が悪くなり、脳の一部が壊死してしまう
画像でわかる脳の変化	海馬を中心に脳の萎縮がみられる	はっきりした脳の萎縮はみられないことが多い	脳が壊死したところが確認できる
男女比	女性に多い	男性がやや多い	男性に多い
初期の症状	もの忘れ	幻視、妄想、うつ状態、パーキンソン症状	もの忘れ
特徴的な症状	認知機能障害(もの忘れ等)、もの盗られ妄想、徘徊、とりつくろいなど	認知機能障害(注意力・視覚等)、認知の変動、幻視・妄想、うつ状態、パーキンソン症状、睡眠時の異常言動、自律神経症状など	認知機能障害(まだら認知症)、手足のしびれ・麻痺、感情のコントロールがうまくいかないなど
経過	記憶障害からはじまり広範な障害へ徐々に進行する	調子の良い時と悪い時をくりかえしながら進行する。ときに急速に進行することもある	原因となる疾患によって異なるが、比較的急に発症し、段階的に進行していくことが多い

出典:相談e-65.net(そうだんイーローゴ・ネット) <https://sodan.e-65.net/basic/ninchisho/>

で記録化。それらのデータの解析結果をもとに、新たな写真なども追加して、本人用に最適化された刺激を自動的にプログラミングする。認知症になると、自分の子どもの顔すら忘れてしまうことも起きる。そうやってしまったときの、その人らしさとは何なのか?その問いに、公認心理師の渡辺が答える。「記憶は、その人が生きてきた証です。家族や友人と過ごした時間、楽しかったこと辛かったこと、それらすべてがその人をつくっています。この取り組みは、自分らしい生き方を全うしてもらうためのものです。自分が生き抜いた歴史を自ら語り、自

分らしい感情を再び取り戻し、少しでも安らぎを感じられたなら、それもまた、自分らしい人生です」。医師であり施設長の金岡は、こう締めくくった。「今は試験導入の段階です。今後も数を重ねながら、この療法の改善に努めていきます。と同時に、地域への啓発活動にも広げていく予定です。認知症の方の多くは、それでもなんとか自分らしい生活、自分らしい人生を全うしようとされています。私たちは、この治験を通じて得た情報を活用して、地域全体で認知症の方の生活を支える体制づくりも進めたい。デジタルならそんな活用もしやすいですから」。

増える認知症患者とどう向き合うか?これは、今の医療・介護の現場が抱える大きな課題だ。誰しも歳をとればもの覚えは悪くなる。しかしこれは、「自然な脳の老化」。認知症はそれとは異なり、何かしらの原因で脳の神経細胞が壊れて起こる。進行するにしたがって理解力や判断力が失われ、社会生活や日常生活に支障をきたす。認知症を根本的に治せる薬や治療法はない。今はおにも、本人にとっては快適に暮らすことができ、同時に家族や介護者の負担も減らすことを目的として、「進行を抑える治療」が中心に行われている。そのなかで近年注目されているのが、「メモリーケア(回想法)」だ。認知症患者は、最近の記憶を保つことは難しいが、昔の記憶は比較的保持されやすい。その記憶を活用して自発的な会話を促し、脳を活性化させる療法だ。薬物治療に頼らずに精神的な安定をもたらすこともできる。介護老人保健施設 悠々亭でも、以前からメモリーケアに取り組んでいた。そして2019(令和1)年6月からは、AIを活用した心理ケアシステム「Aikomi(アイコミ)」を試験導入した。Nick Hird(ニック・ハード)は、その開発者だ。「重視したのは、五感刺激」です。視たり触ったりはもちろん、音を聴く、さらには嗅覚を刺激する機能も持たせました。AikomiのAIはAI(人工知能)を指すが、「愛」でもあるという。「愛込

み、愛にあふれた五感刺激も意味しています」。システム導入をリードしたのは、施設で長年メモリーケアに関与してきた江良だ。「これまでは主に写真など視覚的な刺激を使って回想を行ってききましたが、今回Aikomiを導入し、動画を含む視覚・聴覚・嗅覚刺激という幅広い刺激を活用する機会を得ました。あるご利用者は、日頃から食事が少なく活気の乏しい方でした。この方がセッションの中で馴染みの動画を見て一緒に手振りを真似したり、歌を口ずさんだり、微笑んだり、お喋りしたりされたんです。ただ、嗅覚刺激に反応が得られにくいことが分かり、それが味覚にも影響して食欲低下のひとつの要因になっているのではないかと考えました。そこでスタッフ間で話し合い、もともと料理をしていた大好きなお孫さんに味の濃い物を作ってもらおうということになりました。お孫さんが漬けた梅干しをお粥に添えて、「お孫さんお手製の梅干しですよ」と伝えると一時的に食事が量が増えるというエピソードがありました」。Aikomiの特長は、「本人の記憶そのもの」を活用する点にある。家族へのヒアリングなどを通じ、本人にとって思い出深い写真や音楽などを取り込み、それを見せたり聴かせたりしながら会話する。反応した絵柄や曲、喜怒哀楽などの反応の種類とその度合い、反応時の表情までも映像

地域 とともに

ケアマネジャーが 取り組むべきこと

♥変えていくもの♥

「サービスの調整」から「ケアチームのマネジメント」へ

♥変えてはならないもの♥

「その人らしさ」に寄り添う心



《ケアマネジャー(介護支援専門員)》

ケアマネジャーは、2000(平成12)年の介護保険法施行とともに誕生した資格。主たる業務は「介護保険制度にもとづくケアマネジメント」。急速に高齢化が進み、介護を支える家族を取り巻く社会環境も激変するなか、ケアマネジャーが果たすべき役割は、いまだ明確に定まっているとはいえない。

「受けられる介護サービスの手続き事務をする仕事」。多くの人は、ケアマネジャーの仕事を手作業でイメージする。たしかにケアマネジャーは、介護事業に携わる職種の中でも「もつとも書類を書く職種」とされる。書類も多岐にわたり(別表①)、その処理は膨大な作業になる。「実際には手続き事務に追われがちですが、本来の役割はそれだけではありません」。在宅介護の現場を日々奔走する小松原はそう言い切る。「ご家族も含め、介護を必要とする方の相談にのり、その人らしく暮らせるためのケアチームをつくり、持続性の高

その人らしさを大切にしながら チームづくりとマネジメントで「地域の要」に

は、自宅で生活することが家族間に溝をつくる危険も指摘する。「介護が長期化すると、ご家族も疲弊します。ご本人も迷惑をかけて申し訳ないと思ってしまう」。毎日ご利用者の自宅を訪問する江田はこう続けた。「多くの人は、諦めてしまっています。本当はこんな暮らしがしたい、でも迷惑はかけられないから我慢しなきゃいけない、と。一方のご家族も、施設でお世話になるのは、どこか後ろめたい。お互いの精神衛生を考えると、ポジティブに施設を利用する選択は間違っていない。正解なんかない、関わる全員で最適な答

えをつくり出す気持ちが大切です。その先頭に立ち、ご利用者とご家族の「心のひだ」を感じ、最適な手段をコーディネートする。それが相談援助職であるケアマネジャー本来の仕事です」。

介護保険制度は、始まって20年ほどの「新しい仕組み」だ。この20年間で、社会・地域環境、家族のあり方も大きく変化した。その変化と制度のアンマッチも指摘されている。事業者への介護報酬もその一つ。介護報酬は重度になれば上がり、改善すれば下がる。健康寿命を延ばすことは大きな社会課題でありながら、事業

いサービスの提供に努めることです」。

介護サービスには、大別すると2つある。介護老人保健施設(老健)や特別養護老人ホーム(特養)などの施設に入所して受けるものと、在宅での生活を支援するものである。ケアマネジャーの真価が問われるのは後者に対してだ。デイサービスを利用する、自宅での入浴介助や家事支援を受ける、車いすなどの介護用品を借りる、訪問看護・診療体制も検討するなど、利用者の生活をシミュレーションし、ご本人の心身状態や家族背景、経済力など、その人に合った条件でケアプランをつくる。その

ためには、地域の介護事業者や医療機関の特色やサービス内容、自治体の各支援施策などに幅広く精通していることが欠かせない。

また、在宅介護のケアプランづくりは、ケアマネジャーをジェレンマにも陥らせる。その胸の内を田中は話す。「施設利用は最初に検討しますが、そもそも施設利用はその人に最適なのか? 男性には、デイサービスのレクレーションは苦手という方も多し。また、通所リハビリを利用するよりも長年続けてきた畑仕事に励む方が、張合いも感じられるし元気がいられる人もいます」。逆に小松原

たなか きょうこ
田中 恭子
介護サービスセンター ゆうゆう亭 サブリーダー
主任介護支援専門員 / 社会福祉士 / 管理栄養士

こまつ ぼら こ
小松原 信子
介護サービスセンター ゆうゆう亭 リーダー
主任介護支援専門員 / 社会福祉士 / 介護福祉士

こうだ ひろまさ
江田 裕匡
介護サービスセンター ゆうゆう亭 主任
介護支援専門員 / 社会福祉士 / MBA

◆ケアマネジャーの主な業務(別表①)

① 居宅サービス計画の作成	課題分析(アセスメント)を行い目標設定をしたうえで、適切な介護サービスや社会資源を提案し、ご本人・ご家族との合意で居宅サービス計画(ケアプラン)を作成します。	⑤ 給付管理	毎月、利用予定のサービス量からご利用者の負担額を計算し、利用票を作成。利用前月にご利用者に説明・交付します。また、利用実績の確認も行い、利用翌月には給付管理票を作成し、審査機関へ提出します。
② 居宅サービス事業者との連絡調整	ご利用者の利用にかかるサービス事業者との連絡調整や情報共有全般を行います。	⑥ 要介護認定申請に対する協力、援助	要介護認定更新などの申請書類の作成援助を行い、場合によっては、申請の代行も行います。
③ サービス実施状況の把握、評価	サービス事業者からの報告をもとに、各サービスにおける支援の進捗が計画通りに進んでいるかを把握・評価します。	⑦ 相談業務	ご利用者・ご家族の介護・医療・生活に関する相談全般に応じ、状態に適したサービスや制度をご提案します。
④ 利用者状況の把握	毎月、自宅を訪問し、生活状況や目標への進捗状況、サービスに対する満足度などの確認(モニタリング)を行います。		

私たちはこれからも **はあとふるグループ** に期待しています。

『チーム病院力』

―医療法人はあとふる運動器ケアしまだ病院―との出会い

古い話になり恐縮ですが、約45年前に大阪府立羽曳野高等学校に新任保健体育科教諭とし勤務しました。当時は、スポーツ医学に関する知識も不足しておりました。

そんな折、生徒がバスケットボールの部活で半月板を損傷し、当時有名な整形外科医に手術を受けました。数日経過し、練習を再開する時期を尋ねると、「すぐ開始してもよい」と返事があり再開した途端、再発しました。私の知識不足と医師の言葉を鵜呑みにした責任を痛感しました。

その時、知人の紹介で羽曳野市の「永広会島田病院(現：医療法人はあとふる 運動器ケアしまだ病院)」を紹介され再診しました。島田



▲約45年前、大阪府立羽曳野高等学校でバスケットボール部の顧問を務めていた当時の比嘉学長



▲第12回スポーツ選手・指導者交流会の際の記念撮影。中央が比嘉学長。その右には、現在、アーティスティックスイミング日本代表ヘッドコーチを務める井村雅代氏の姿も。左端が、医療法人はあとふる 理事長・島田永和

先生から一緒に治しましょうよ」と生徒に声をかけていただき、いまどきこんなお医者さんもあるのだと、感激したことを鮮明に覚えております。医師、トレーナー、看護師、職員までもが関わっていたら、選手が復活できました。この『チーム病院力』こそ、当時の島田病院から受け継がれてきた選手復帰までの治療方法であり、現在もプロ選手、オリンピック選手をはじめ、中、高校生やスポーツ愛好者からも評判の高い病院です。早い時期に本物のドクターと出会うことができるいまの中学生・高校生は幸せです。

その後も、生徒がけがをした時にはすぐ連絡し、羽曳野高校の全クラブとともに、体育授業関係も、学校

ぐるみでお世話になりました。

まるで、島田病院附属羽曳野高等学校のようでした(笑)。さらに、当時、スポーツ指導者は、親身に治療してくれる病院は少なく、困っていましたので、大阪府内だけでなく、近畿や三重県の先生方にも紹介して喜んでいただきました。

また、私自身もアキレス腱を断裂し、手術をして治していただきました。妻、祖母、子どもまで家族ぐるみでお世話になっております。

私が退院する時に、「入院中に気づいた、病院の悪いことを教えてください」と言われ、戸惑いましたが、待合室、トイレなど設備のことを始め、受付、電話応対、さらに、医師、看護師さんのこと等を正直に話し、もちろん、良いこともたくさん話しました(笑)。すると、素早く改善されました。この迅速な取り組みが、患者さんの信頼を得る理由ではないでしょうか。

島田理事長は、患者さんに最高の医療を提供するため、自ら最高の治療方法を求め、国内だけでなく、海外へも研修に行き、最新医療の洋書などからも情報を収集し、日々研鑽



芦屋大学 学長 比嘉 悟氏

を積んで、自身を厳しく鍛えています。また、院内では、医師、理学療法士、トレーナー、看護師さんが、定期的に勉強会を開催しています。このような組織、体制は、本当に素晴らしいですね。

医療法人はあとふる 運動器ケアしまだ病院の理念は、「人間愛にもとづいたしなやかな知識、技術により、信頼でつながるチームで、安全に、心に届くサービスを提供します」です。この理念にもとづき、患者さんのために、全職員が一丸となって動いている姿が、『チーム病院力』の原動力だと思います。

今後この素晴らしいチーム力を発展、継続され、取り組みや活動の輪を広げられることが、信頼できる医療機関のさらなる増加につながると思います。

羽曳野市のみならず大阪や日本全体の医療活動へ寄与され、すべての患者さんが安心できる住みよい社会が実現しますよう祈っております。

私の島田病院(当時)での8年間

私は大阪のある産婦人科病院の事務長を職首されたのを機に、島田病院(当時)に入職しました。

1989(平成元年)9月、私52歳、オーナーの島田永和先生は私よりひとまわり以上若い30歳代後半でした。当時の島田病院はまだ結核病院であり、180床の結核病床と40床の一般病床がありました。結核病床は父上・永廣先生が、一般病床は整形外科医の永和先生が担当されていました。

私は病院の事務管理の責任者、事

務長として幾度か先生のご自宅に招かれ、お訪ねする度にその本棚に多種多様な蔵書があり、レコード、CD等素晴らしいオーディオ装置が並び、その地下室には秘密の酒場まであるのを見て、先生の生き方の幅の広さを感じていました。

永和先生の凄さは、整形外科医としての手術の腕だけではなく、写真の関わった患者さんのデータを写真のスライドにきちんと整理され、方を超すスライドが理事長室に保管されています。



島田病院 元事務長 中尾 嘉文氏

患者さんに対する診察の姿勢は、患部を診るだけではありません。患者さんに全体像としての生き方も示唆できる。そんな医師であり、「安静」でなく「動いて治せ」を基本に診療されています。また、先生は病院の中で動く医師ではなく、地域社会に向けて、「自分の医療は自分で決める」LET ME DECIDE(「ラットミー デイサイド」)の概念を広報し、終末期に自分がどうして欲しいのかを、文章で書き残す必要も説かれています。

整形外科医の枠を超えて、医療・介護・福祉の分野で地域貢献を目指す姿勢が評価された最たる表は、1997(平成9年)3月竣工の介護老人保健施設 悠々亭に平成天皇・皇后が行幸されることを大阪府が推薦したことです。

永和先生の、人を信じ、その人の能力を最大限に伸ばしてあげたいという思いの強さも人並み外れたものがあります。iPS細胞でノーベル賞を受けられた山中伸弥先生は、島田病院(当時)に勤務されていた時代がありました。その山中先生から研究者の道を選びたいと相談された永和先生は、「やりたい道に進めばいいよ」ところよく送り出し、さらには「あかんかったらいつでも待っているわ!」と声を掛けられていた。この言葉が、難病に苦しむ患者さんに希望の光を届ける「iPS細胞の誕



▲島田病院(当時)の職員一同で出かけた温泉旅行でのひとコマ。左の二人羽織で口をあけているのが中尾氏/1990(平成2)年11月



▶クリスマスにはサンタクロースになり、プレゼントを持って職員の子どものもとへ。サンタクロースに扮する中尾氏/1990(平成2)年12月

生へとつながったのです。そうして、永和先生とともに過ごさせて頂いた8年間。永和先生にすっかり魅了された私は、いまでも週2回、大阪からEudynamicstaiゴラスに通い、「動いてなんぼ!」を体感しています。

新院長に就任された勝田先生、今度は貴方が承継を受ける番です。平成の時代、法人名も漢字からひらがなになったように、柔軟な発想で令和の「運動器ケアしまだ病院」を引っ張ってください。

古墳のまちでのエトセトラ

Information



はあとふるグループ
Facebook



Eudynamics ヴィゴラス
Instagram



理事長ブログ
「島田永和からの
はあとふるエール」



続きはfacebookをご覧ください



続きはInstagramをご覧ください



続きはブログをご覧ください



旬の桜鯛を使った
お弁当を作って、気分転換。



【1人分の栄養価】
エネルギー：527kcal
たんぱく質：32.0g
脂質：13.4g

はあとふる 食堂

管理栄養士の
旬のレシピ

鯛も一人は
うまからず

（鯛のことわざ）

「意味」どんなに美味しいといわれる鯛であつても、一人で食べるより誰かと一緒に食べたほうが美味しい。

vol.4

鯛（たい）と菜の花のおにぎらず

“おにぎらず”は名前の通り、握る手間なく手軽に作ることができるのでおすすめです。

今回は旬の食材を使って、春らしい彩りと味覚と一緒に楽しめる“おにぎらず”を作りました。春の鯛は桜鯛と呼ばれ、産卵を控えた栄養を蓄えているので身が美味しくなります。同じ旬の菜の花と、花の黄色をイメージして卵をあわせました。栄養面では、筋肉の材料となるタンパク質に加え、野菜も一緒に食べられるのでバランスが良くなります。

基本的な作り方を覚えれば、具材は好みに合わせてアレンジ自由です。春キャベツのソーテーやふき味噌などを入れても美味しいでしょう。自分の好きな“おにぎらず”をぜひ見つけて下さい。



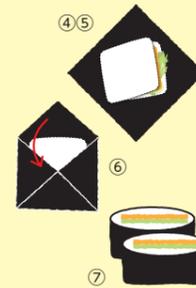
八尾はあとふる病院
診療管理部 栄養管理課
管理栄養士
清須 智美

材料（1人分） ※写真は1.5人分

- ご飯……………米 0.5合
- 海苔……………焼き海苔 1枚
- 鯛の味噌漬け
鯛：1切れ
（Aを塗り一日寝かせる）
A（味噌：50g
酒：大さじ1.5
みりん：大さじ1.5）
- 菜の花のごま和え
菜の花：1/4束
（茹でてしっかり水切り）
B（ごま：小さじ0.5
濃口醤油：小さじ0.5
砂糖：小さじ0.5）
- 薄焼き卵
卵：1個
（Cと混ぜ合わせる）
C（塩：少々
ほんだし：少々）
サラダ油：小さじ0.5

作り方

- 鯛は味噌だれを取り除いて焼き、身をほぐす。
- 菜の花は2cmほどに切り、Bで和える。
- 卵はフライパンで焼く。
- ラップの上に、ひし形になるよう海苔を置き、ご飯を半量、真ん中に四角くのせる。
- 具材を順番にのせ、残りのご飯を最後にのせる。
- 海苔の角を中央に寄せて包み、ラップでくるんで形を整える。
- 海苔とご飯がなじんだら真中を包丁でカットする。



はあとふる
Vol.59 ♡ 2020年4月

「今号の記事」

	（特集） 変えていくもの。 変えてはならないもの。		（連載）
02	運動器ケアしまだ病院 新院長ごあいさつ 勝田 紘史	14	はあとふる食堂 - 管理栄養士の旬のレシピ - 鯛と菜の花のおにぎらず
04	介護老人保健施設 悠々亭 新施設長ごあいさつ 金岡 禧秀	14	はあとふる たより
06	〈目指す治療〉48時間以内手術への挑戦	15	古墳のまちでのエトセトラ - Information -
08	〈人に寄り添う〉認知症にどう向きあうべきか？		
10	〈地域とともに〉ケアマネジャーが取り組むべきこと		
12	〈私たちはこれからもはあとふるグループに期待しています。〉 芦屋大学 学長 比嘉 悟氏 / 島田病院 元事務長 中尾 嘉文氏		



動く。

はあとふる たより

はあとふるグループでは、毎月1回、施設内に「メッセー」ジポスター「動く。」を掲出しています。私たちが日々の医療・介護現場で感じていることをスタッフみんなで共有したい、そんな想いから始めた活動です。よろしかったら「動く。」を読んでください。

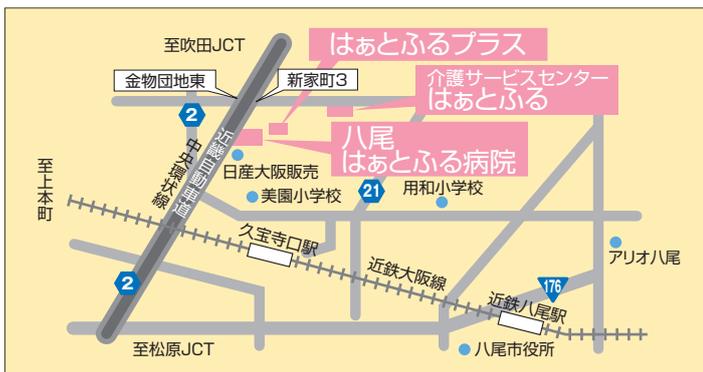
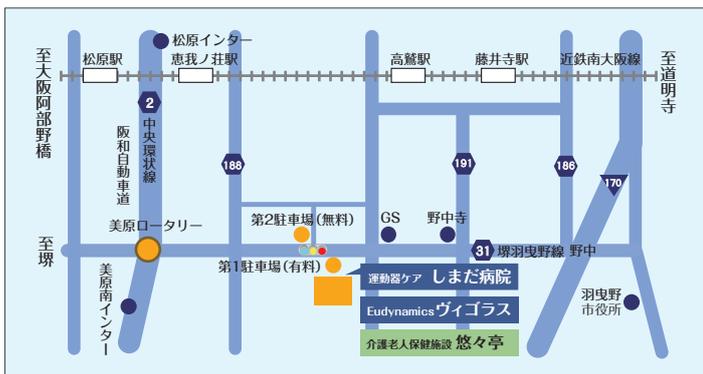
自宅へと見送る日、思わずうるんだ両の瞼。初めての夜勤明けの朝、ほっとついたひと息。額ににじむ大粒の汗浴室に広がるほがらかな気分。すすむお箸、「おいしい」の一言に誘われる笑顔。変わらずにあるもの、昼夜なく守り抜く覚悟の背中。勝利に沸く選手をそばで、人知れず握ったこぶし。悔しさにうっむく横顔、そっと隣にいてくれる仲間。その人と、その人を支える私たちの動く手、動くこころ、動くいのち。私たちの日常には、それぞれの「動く。」がつなぐ物語がある。人は、物語を語り合うことで、つながり、信頼を重ねていくもの。はあとふるグループに関わるすべてのみなさまに、新しいつながりが生まれるよう願いを込めて。はあとふる たより「動く。」を綴ります。



その人がその人らしく自分の人生を全うすることを
Warm Heart -心- Cool Head -知識・判断- Beautiful Hands -技術- で支援します



<http://www.heartful-health.or.jp/> はあとふるグループ 



はあとふるグループ

医療法人はあとふる

- 運動器ケア しまだ病院 Tel.072-953-1001 / Fax.072-953-1552
- Eudynamics ヴィゴラス Tel.072-953-1007 / Fax.072-953-1007
- 介護老人保健施設 悠々亭 Tel.072-953-1002 / Fax.072-953-1911
 - 通所リハビリテーション Tel.072-953-0045 / Fax.072-953-1911
- 通所介護 悠々亭 Tel.072-979-7807 / Fax.072-953-1911
- 在宅介護支援センター 悠々亭 Tel.072-953-1003 / Fax.072-953-1332
- 介護サービスセンター ゆうゆう亭 Tel.072-953-5514 / Fax.072-953-1332
- 訪問看護ステーション ハートパークはびきの Tel.072-953-1004 / Fax.072-953-0022

〒583-0875 大阪府羽曳野市櫻山100-1

- ヘルパーステーション 悠々亭 Tel.072-953-1062 / Fax.072-953-0022

〒583-0883 大阪府羽曳野市向野3-96-7

- 八尾はあとふる病院 Tel.072-999-0725 / Fax.072-923-0180
 - 通所リハビリテーション Tel.072-999-0726 / Fax.072-923-0186
 - 訪問リハビリテーション Tel.072-999-0725 / Fax.072-923-0180

〒581-0818 大阪府八尾市美園町2-18-1

- 介護サービスセンター はあとふる Tel.072-999-8126 / Fax.072-999-6118

〒581-0815 大阪府八尾市宮町5-6-22

- 通所介護 はあとふるプラス Tel.072-920-7216 / Fax.072-920-7256

〒581-0815 大阪府八尾市宮町6-6-16

社会福祉法人はあとふる

- 通所介護 ゆうゆうハウス Tel.072-931-1616 / Fax.072-931-1128
- サービス付高齢者向け住宅 ゆうゆうハウス Tel.072-931-1616 / Fax.072-931-1128

〒583-0875 大阪府羽曳野市櫻山96-10